宮崎県高等学校体育連盟　保健体育教科研究委員会　研究報告

１　研究主題（県学体研高等学校部会）

『健やかな心と体をはぐくみ、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる保健体育科学習を目指して』

○平成２２年度～平成２４年度の研究について

「体育指導方法に関する研究」の構想

～「スキルアップゲーム」「課題を解決するゲーム」に焦点をあてて～

２　研究の目的

　　高等学校においては、「運動の楽しさや喜びを深く味わい、主体的に取り組めるようにする」という段階であること踏まえ、学習に対する主体的な取組を促す必要がある。「運動の楽しさや喜びを深く味わう」とは、学習指導要領解説によると、「技能を高めたり，作戦を立てたり、作戦をまとめたりするなどの過程を通して、仲間と適切な関係を築き、課題の解決を目指して取り組むことにより、一過性の楽しさにとどまらず、その『運動の持つ特性や魅力に深く触れること』」とある。この『運動の持つ特性や魅力に深く触れる』ということを教師側の視点で捉えると、あらためて、体育指導方法に関する研究をより深めて育いく必要性がある事が分かる。

　　そこで、宮崎県高体連保健体育教科研究委員会では、運動の持つ特性や魅力に触れ、運動の楽しさや喜びを深く味わう教材として、「スキルアップゲーム」と「課題を解決するゲーム」に焦点をあて、内容の共有・実践によって体育指導方法の向上・改善を図りたい。

３　研究の仮説

　　各学校で実践している「スキルアップゲーム」や「課題を解決するゲーム」を指導内容ごとに整理し、発達の段階ごとにまとめて、集約し、県下で共有すれば体育指導方法の向上・改善の一助となるのではないか。

４　研究の内容

1. 実践報告書の集約、実践事例集の整理
2. 平成２２年度に、各学校からの実践報告書を集約しその中から「ゴール型：バスケットボール」の資料を抜粋し、研究収録で実践事例集として報告
3. 平成２３年度に、昨年度の実践事例集をさらに整理し、研究収録で報告
4. 平成２４年度の１・２学期に、実践事例集「ゴール型：バスケットボール」を実際に各学校で実践した。バスケットボールの実践ができない場合には、同じゴール型の他種目での実践とした。

　　　　　　研究実践終了後に、アンケート調査を実施し、研究の実践調査を行った。

５　アンケート調査結果

（１）

回答数７５／１４７人（５１％）の先生方が、バスケットボールの授業実践を行った。

年間計画の中で、バスケットボールの授業実践ができなかった方は、他種目での授業実践を行った。高体連加盟校に約３００名の先生方がいる中で、多くの方に授業研究をしていただいた。

（２）

回答数１２９／１４５人（８９％）の先生方が、研究収録が「大変参考になった・参考になった」と答えた。その点では非常に有意義であったと考える。しかし、よりよい事例集を作成するためには、参考にならなかったという方の意見も参考にしつつ、来年度以降の取組に生かしたいと思う。

（６）

高体連理事会で配布された研究収録集を見てという方が、１１８人（８３％）であった。また。高体連HPよりダウンロードされた方が、１０％であった。紙ベースの資料を多くの方が利用された事が分かる。今後は、HPからのダウンロードについても有効利用できるようにしたい。

（７）

今回、学習指導要領解説の技能の例示に従って、各地区で先生方が考えられたゲームを分類し、発達の段階に応じて、ゲームに取り組めるようにした。その集約の仕方については、回答いただいたすべての先生方が、適当であると答えた。次年度以降の取組も学習指導要領と授業の関係で、ダイレクトに身につけるべき技能がそのゲームに反映されるように、事例集づくりを行っていきたい。

（９）

回答をいただいた、１５３名の先生方の内１２８人（７８％）の方々が、指導方法が「かなり向上・改善された、向上・改善された」と答えた。活用していただいた方々に、好評価をいただき、授業に有効利用をしていただけた事は、研究活動の方向性にご理解をいただいた証拠であると感じた。

（１０）

情報（事例）を共有することは、「かなり有効である・有効である」と答えた方が、９６％であった。それぞれの先生方が、専門種目、それ以外の種目問わず、多くの授業実践の経験がある。県内の先生方で、その情報を共有することは、大きなプラス要素である。

（１１）

回答数１５６人中、実践事例集を生徒に授業用として提示（活用）した人が、４２人（２７％、活用しなかった人が１１４人（７３％）であった。実際に生徒に提示資料として、今後、授業で活用されるようになるような研究を進めていきたい。

（１２）

授業で活用したと応えた先生方の中で、提示資料としては適当でなかったという方が、５名／５２名（１０％）いた。言葉の表現であるとか、図示の仕方であるとか、今後、検討、工夫をし、より使いやすい資料がまとめられるにしたい。

６　研究のまとめ

３カ年の研究活動の成果を、平成２４年度第５１回九州地区学校体育研究発表大会のなかで、宮崎西高等学校の石崎先生の高等学校部会授業発表として、九州・県内の先生方に発表することができた。宮崎県の研究発表は、高体連教科研究委員会が研究をおこないつつ、その研究内容に沿って、該当校に授業発表をしていただくということで、協力いただいた県内すべて先生方の共同研究である。

研究内容については、新しい学習指導要領が平成２５年度より年次進行で進んでいくことを見越して、新学習指導要領の内容をどのように具体的に授業に反映していくかということを念頭に置きながら、検討を行った。

　平成２２年度に県内のすべての学校、先生方から事例収集を行った。これについては、各学校の先生方のご理解ご協力がないとできなかった作業であり、教科研究委員会として感謝を申し上げたい。

平成２３年度は、球技『ゴール型：バスケットボール』の「スキルアップゲーム」、「課題を明確にしたゲーム」に特化して事例のまとめ作業を行った。この年は、より分かりやすい資料にするように工夫はしたが、まだまだ授業の中で活用できるような段階ではなかった。

　平成２４年度、九州地区学校体育研究発表大会の授業校である、宮崎西高校や学体研実行委員会の研究部で検討され、より小中高のつながりのある分かりやすいものになった。

　アンケート結果にもあるように、県内の先生方にとって有意義であったという結果はでている。しかし、アンケート結果では、より授業で分かりやすいものにする余地もある。表示の仕方等を委員会で検討しつつ、来年度の研究に生かしていきたい。

　来年度以降の研究については、種目をゴール型からネット型に変えて同じような研究を進めていく予定である。アンケートの中に、最近の傾向である動画ベースの資料やデジタルデータで、自分でも編集できるような資料等ものの必要であるという回答があった。

　限られた時間の中ですべてを行っていくことは難しいが、できるだけ先生方の意向に沿うような研究活動になるように努力をしていきたい。

　また、アンケートの中には、研究収録やその使い方がうまく伝わっていなかったという意見も多くあった。教科研究委員会の組織として、県高体連教科研究委員会の研究内容を各地区から選出された県教科研究委員の先生方を通じて、各学校の教科研究委員へそしてすべての先生方へその情報が伝達されるように、まずは、支部での教科研究委員会を活性化していただくように努力をしていきたい。

　また、学校の実態にあっていないという回答もあった。学習指導要領の中は、最低限教えるべき内容ということで、各学校の先生方に扱っていただく必要がある。その内容を含んだ資料として、より分かりやすく、すべての学校で活用していただけるような研究にしていきたい。今後、全ての先生方が教科保健体育の授業の充実のために、何らかの形で関わっていただけるような研究活動にしていきたい。

**県高体連教研究委員会アンケート**　　　　　　　　　　対象：県内保健体育科の教員全員

県高体連教科研究委員会では、平成２５年度から年次進行で実施される学習指導要領の改訂を機に、新学習指導要領の授業への具体化のため、平成２２年度から３年間の計画で、「体育指導方法に関する研究」の構想～「スキルアップゲーム」「課題を解決するゲーム」に焦点をあてて～というテーマの下、仮説を立てて、研究を進めてまいりました。今年度は、まとめた研究収録をもとに各学校で先生方に授業実践をお願いしております。その研究内容や方法について、各学校の先生方アンケート調査を行い、３年間の研究のまとめを行い、今後の研究活動の参考にしたいと思います。お忙しいとは存じますが、ご協力をお願い申し上げます。

**（１）．研究実践についてお伺いします。あなたは、どの種目の研究実践を行いましたか？**

　　①　球技ゴール型：バスケットボール

1. 球技ゴール型：バスケットボール以外のゴール型の種目（種目名：　　　　　　）
2. 球技ゴール型以外の球技の種目（種目名：　　　　　　　　　）
3. 球技以外の種目

**（２）．研究収録集についてお伺いします。研究収録集は、参考になりましたか？**

1. 大変参考になった　　　　　　　②　参考になった

③　あまり参考にならなかった　　　　④　全く参考にならなかった。

**（３）．（２）の質問で①②と答えた方に質問です。どのような点が参考になりましたか？自由にお答え下さい。**

**（４）．（２）の質問で③④と答えた方に質問です。どのような点が参考になりませんでしたか？自由にお答え下さい。**

**（５）．全ての方に質問です。どのような研究収録にするとわかりやすいですか？自由にお答え下さい。**

**（６）全ての方に質問です。情報の共有化が目的でしたが、実践事例集は、どの方法で入手されましたか？**

　　①　高体連理事会で配布された、研究収録集。

1. 高体連ホームページにアップロードされているものをダウンロードした。
2. その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**（７）資料のまとめ方について質問です。今回、学習指導要領の技能の例示をもとに、それぞれのドリルゲーム/タスクゲームを集約しましたが、それをどう思われますか？**

　　①　適当である　　　②　適当ではない。

**（８）．（７）で②と答えた方に質問です。その理由は何ですか？ご自由にお答えください。**

**（９）．全ての先生方にお尋ねします。この実践事例集を活用することで、体育指導法の向上・改善につながりましたか？**

1. かなり向上・改善された　　　　　②　　向上・改善された

③　　あまり向上・改善されなかった。　④　　全く向上・改善されなかった。

**（１０）全ての先生方にお尋ねします。先生方が授業実践されている事例（授業方法や情報）を県内の体育科の先生方で、共有することは、体育の授業の向上・改善のために有効だと思いますか。**

1. かなり有効である。　　②有効である。③あまり有効でない。　④全く有効でない。

**（１１）全ての先生方に質問です。実践事例集は、生徒に授業用資料として提示（活用）しましたか？**

1. 活用した　　　　②　活用しなかった

**（１２）（１１）で①と答えた方に質問です。実践事例集は、提示資料としては適当でしたか？**

　　①　適当だった。　　②　適当でなかった。

**（１３）（１２）で②と答えた方に質問です。どのように改善したらよいと思いますか？ご自由にお答え下さい。**

【各学校の保健体育の授業についてお伺いします。】

1. **現在、授業を行う上で、困っていることがあれば、教えて下さい。**
2. **今後、教科研究委員会でどのような研究を行っていったらよいと思いますか？ご自由にお書き下さい。**